

平成23年度e・アンケートモニター 第1回アンケート調査結果

テーマ「地球温暖化対策」

I 調査の概要

1 調査のテーマ及び目的

テーマ:「地球温暖化対策」(環境政策課)

地球温暖化問題は、人類に関わる世界共通の課題であり、山口県においても省エネ・省資源対策などの取組を進めているところです。山口県全体のCO₂排出量は近年減少傾向にあるものの、家庭からのCO₂排出量は著しく増加しており、一般家庭における地球温暖化対策が重要となっています。

そこで、家庭における地球温暖化対策の取組について調査を行い、今後の取組の推進に当たっての参考とします。

2 調査実施期間

平成23年7月4日～7月18日

3 調査対象

平成23年度e・アンケートモニター:158人

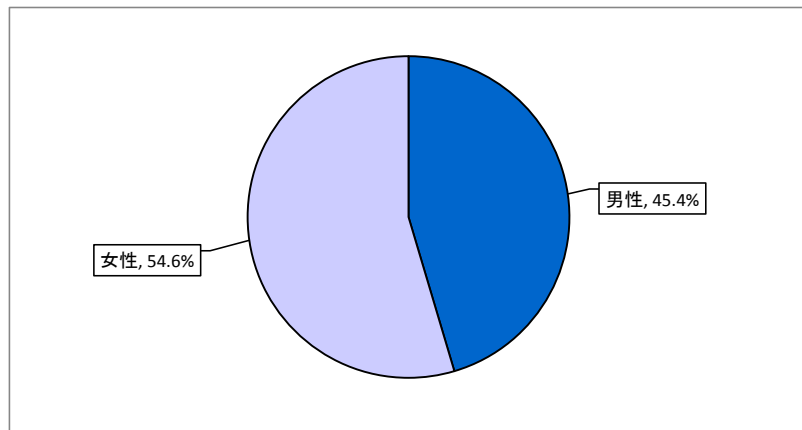
4 回答状況

回答者:119人(75.3%)

II 回答者の属性

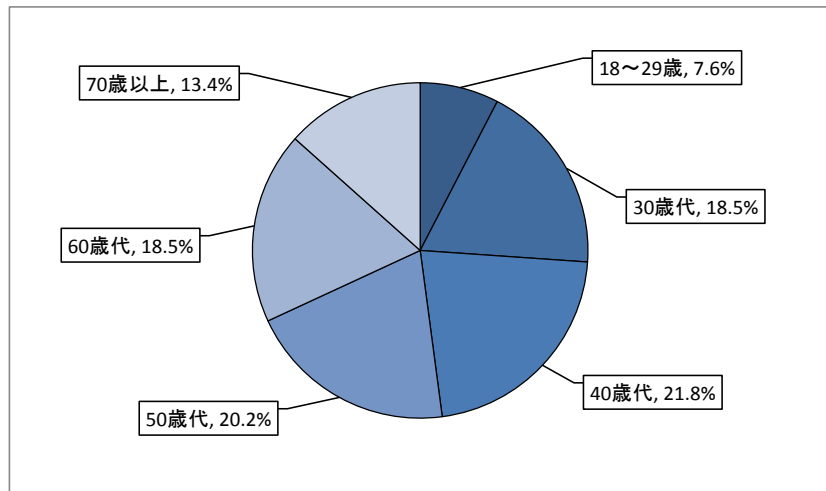
■性別

| 区分 | 人数 | % |
|----|-----|--------|
| 男性 | 54 | 45.4% |
| 女性 | 65 | 54.6% |
| 計 | 119 | 100.0% |



■年代別

| 区分 | 人数 | % |
|--------|-----|--------|
| 18～29歳 | 9 | 7.6% |
| 30歳代 | 22 | 18.5% |
| 40歳代 | 26 | 21.8% |
| 50歳代 | 24 | 20.2% |
| 60歳代 | 22 | 18.5% |
| 70歳以上 | 16 | 13.4% |
| 計 | 119 | 100.0% |

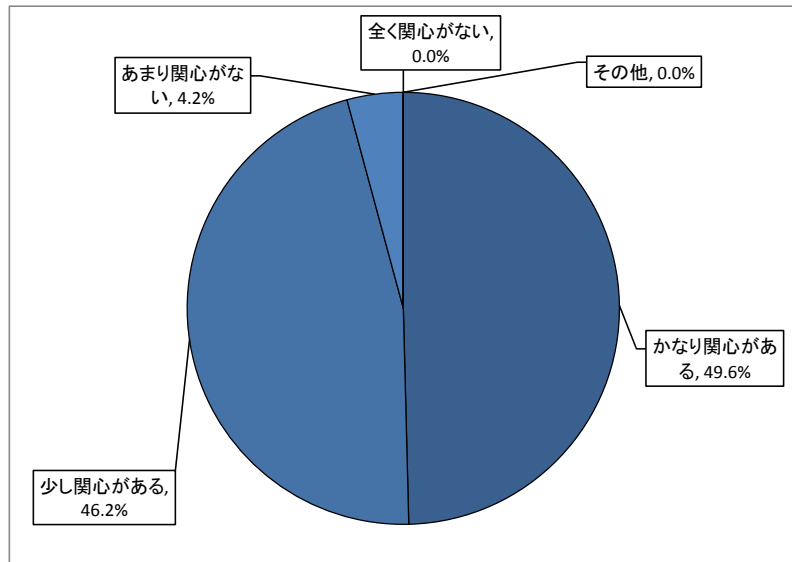


「回答者の属性」、「調査結果」の各表及び各グラフ中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合がある。

Ⅲ 調査結果

Q1 あなたは、「地球温暖化」に関心をお持ちですか。(1つのみ)

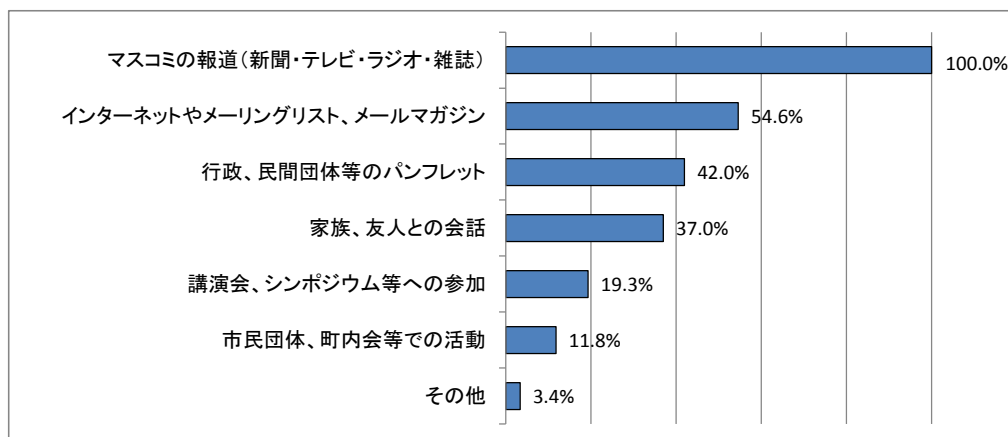
| 選択肢 | 人数 | % |
|----------|----|-------|
| かなり関心がある | 59 | 49.6% |
| 少し関心がある | 55 | 46.2% |
| あまり関心がない | 5 | 4.2% |
| 全く関心がない | 0 | 0.0% |
| その他 | 0 | 0.0% |



Q2 あなたは、環境に関する情報を何から得ていますか。(いくつでも)

| 選択肢 | 人数 | % |
|------------------------|-----|--------|
| マスコミの報道(新聞・テレビ・ラジオ・雑誌) | 119 | 100.0% |
| インターネットやメールリスト、メールマガジン | 65 | 54.6% |
| 行政、民間団体等のパンフレット | 50 | 42.0% |
| 家族、友人との会話 | 44 | 37.0% |
| 講演会、シンポジウム等への参加 | 23 | 19.3% |
| 市民団体、町内会等での活動 | 14 | 11.8% |
| その他 | 4 | 3.4% |

(複数回答)



Q3 あなたの日常生活において、地球温暖化防止のために、どのような取組を行っていますか。
それぞれの「実施状況」について、該当するもののいずれか1つを選んでください。(それぞれ1つずつ)

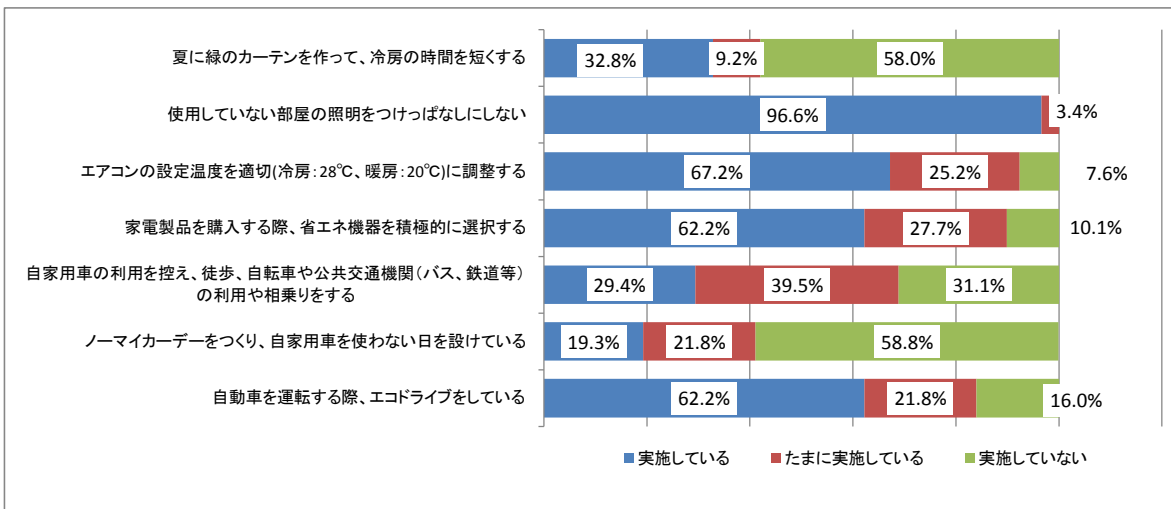
(1) 家庭での省エネルギーの取組

| 項目 | 人数 | | | % | | |
|--|--------|---------|---------|--------|---------|---------|
| | 実施している | たまに実施する | 実施していない | 実施している | たまに実施する | 実施していない |
| 夏に緑のカーテン(※1)を作って、冷房の時間を短くする | 39 | 11 | 69 | 32.8% | 9.2% | 58.0% |
| 使用していない部屋の照明をつけっぱなしにしない | 115 | 4 | 0 | 96.6% | 3.4% | 0.0% |
| エアコンの設定温度を適切(冷房:28℃、暖房:20℃)に調整する | 80 | 30 | 9 | 67.2% | 25.2% | 7.6% |
| 家電製品を購入する際、省エネ機器(※2)を積極的に選択する | 74 | 33 | 12 | 62.2% | 27.7% | 10.1% |
| 自家用車の利用を控え、徒歩、自転車や公共交通機関(バス、鉄道等)の利用や相乗りをする | 35 | 47 | 37 | 29.4% | 39.5% | 31.1% |
| ノーマイカーデーをつくり、自家用車を使わない日を設けている | 23 | 26 | 70 | 19.3% | 21.8% | 58.8% |
| 自動車を運転する際、エコドライブ(※3)をしている | 74 | 26 | 19 | 62.2% | 21.8% | 16.0% |

※1 「緑のカーテン」: 夏にアサガオやニガウリなどのつる性の植物を窓の外のネットにはわせ、夏の暑い日射しをさえぎる自然のカーテンのこと

※2 「省エネ機器」: 「省エネ機器」には「緑の省エネラベル」がついていますので、確認してください。

※3 「エコドライブ」: 急発進・急加速をしない、タイヤの空気圧を適切にする、アイドリングストップ等



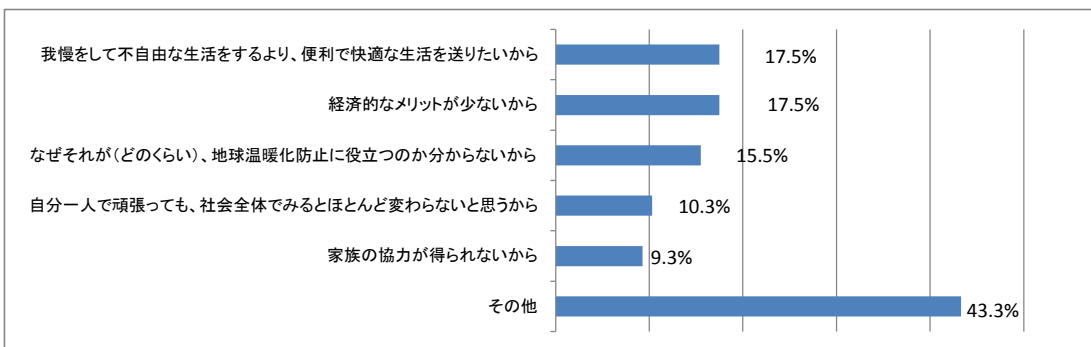
(2) 家庭での省エネルギーに取り組まない理由(いくつでも)

(1)で1つでも「実施していない」を選択した方のみ回答

| 選択肢 | 人数 | % |
|-----------------------------------|----|-------|
| 我慢をして不自由な生活をするより、便利で快適な生活を送りたいから | 17 | 17.5% |
| 経済的なメリットが少ないから | 17 | 17.5% |
| なぜそれが(どのくらい)、地球温暖化防止に役立つのか分からないから | 15 | 15.5% |
| 自分一人で頑張っても、社会全体でみるとほとんど変わらないと思うから | 10 | 10.3% |
| 家族の協力が得られないから | 9 | 9.3% |
| その他 | 42 | 43.3% |

※(1)で1つでも「実施していない」を選択した方: 97人

(複数回答)



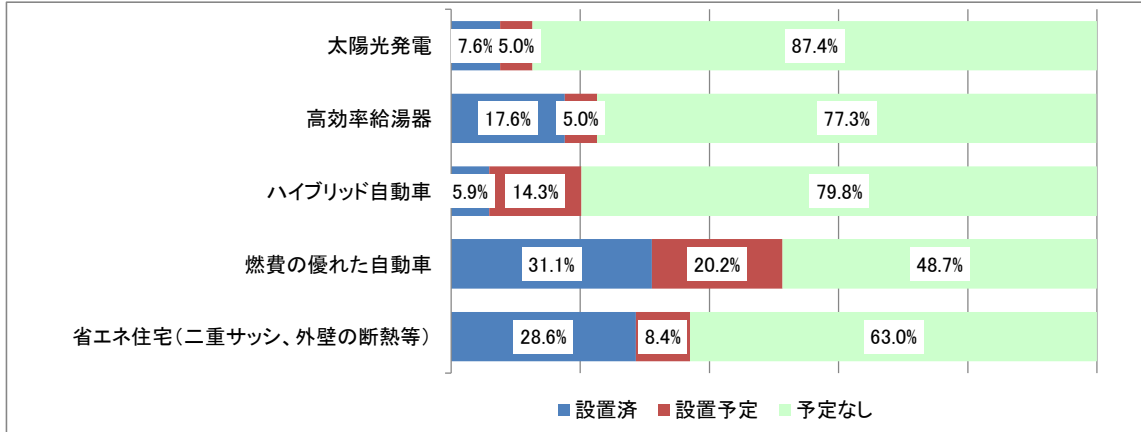
(3)新エネルギー・省エネルギー機器等の設置(それぞれ1つずつ)

| 機器の名称 | 設置済 | 設置予定 | 予定なし | % | % | % |
|---------------------|-----|------|------|-------|-------|-------|
| 太陽光発電 | 9 | 6 | 104 | 7.6% | 5.0% | 87.4% |
| 高効率給湯器(※4) | 21 | 6 | 92 | 17.6% | 5.0% | 77.3% |
| ハイブリッド自動車 | 7 | 17 | 95 | 5.9% | 14.3% | 79.8% |
| 燃費の優れた自動車(※5) | 37 | 24 | 58 | 31.1% | 20.2% | 48.7% |
| 省エネ住宅(二重サッシ、外壁の断熱等) | 34 | 10 | 75 | 28.6% | 8.4% | 63.0% |

※4 「高効率給湯器」:給湯熱効率が90%以上である給湯器(エコキュート、潜熱回収型給湯器など)のこと

※5 「燃費の優れた自動車」:自動車の燃費性能が一定基準以上の車種を「燃費基準達成車」と国が認定しています。

これらに該当する車種には、緑のステッカーがついており、自動車検査証の備考欄に「平成22年度燃費基準達成車」などと表示されています。



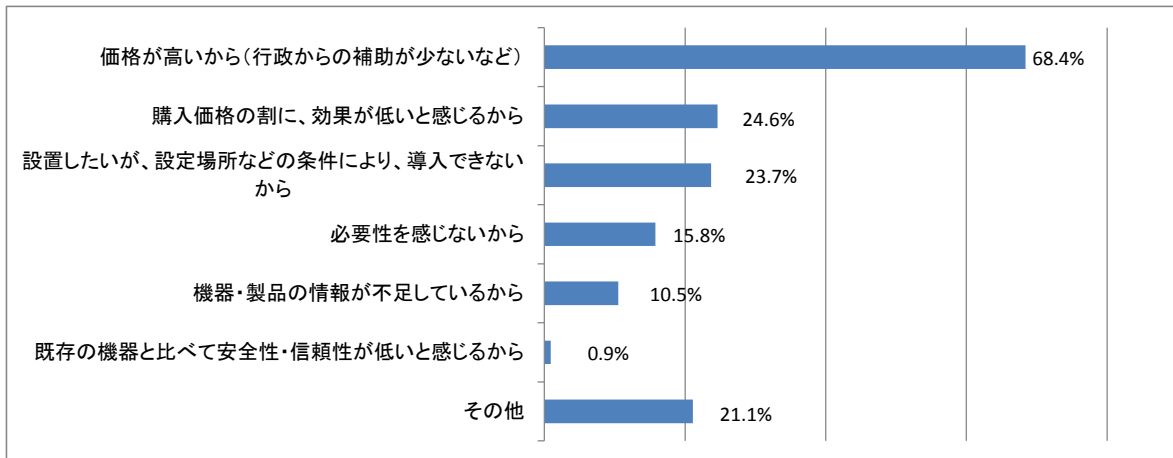
(4)新エネルギー・省エネルギー機器等の設置に取り組めない理由(いくつでも)

(3)で1つでも「予定なし」を選択した方のみ回答

| 選択肢 | 人数 | % |
|------------------------------|----|-------|
| 価格が高いから(行政からの補助が少ないなど) | 78 | 68.4% |
| 購入価格の割に、効果が低いと感じるから | 28 | 24.6% |
| 設置したいが、設定場所などの条件により、導入できないから | 27 | 23.7% |
| 必要性を感じないから | 18 | 15.8% |
| 機器・製品の情報が不足しているから | 12 | 10.5% |
| 既存の機器と比べて安全性・信頼性が低いと感じるから | 1 | 0.9% |
| その他 | 24 | 21.1% |

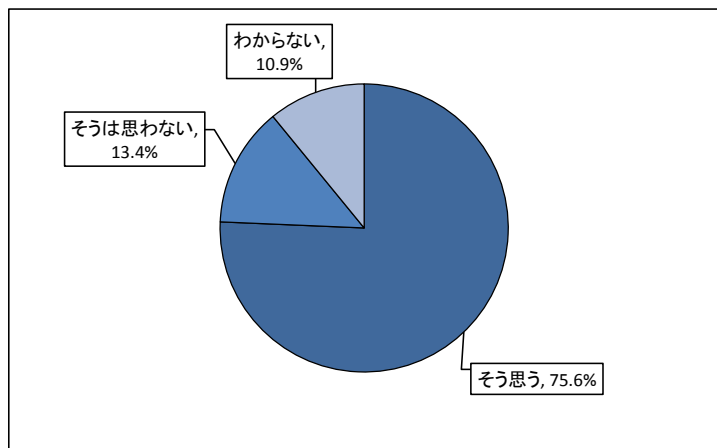
(3)で1つでも「予定なし」を選択した方:114人

(複数回答)



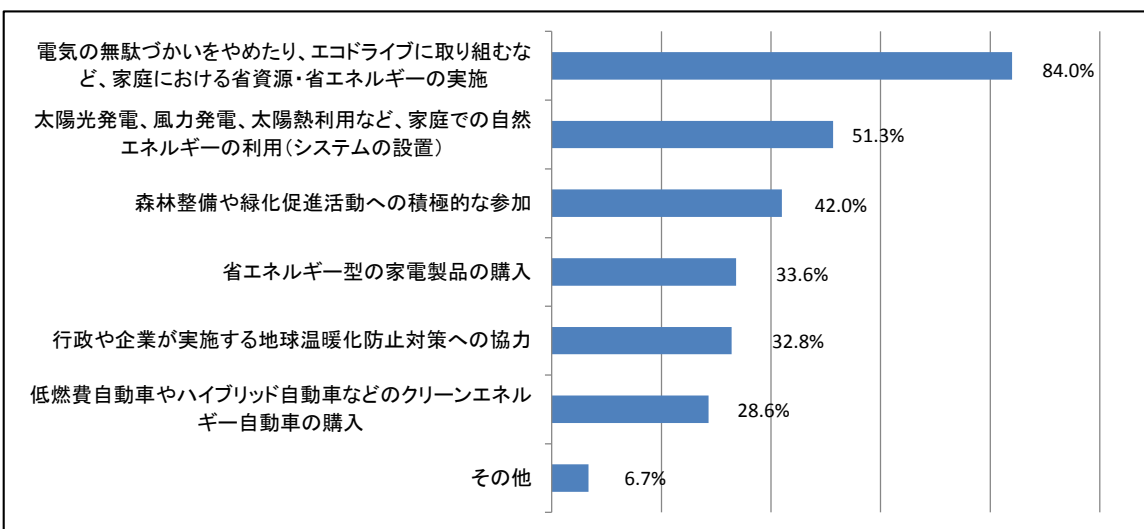
Q4 あなたは「経済発展や生活の利便性を若干犠牲にしても、地球温暖化の原因とされている二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減を優先しなければならない」と言われていることについてどう思いますか。(1つのみ)

| 選択肢 | 人数 | % |
|---------|----|-------|
| そう思う | 90 | 75.6% |
| そうは思わない | 16 | 13.4% |
| わからない | 13 | 10.9% |



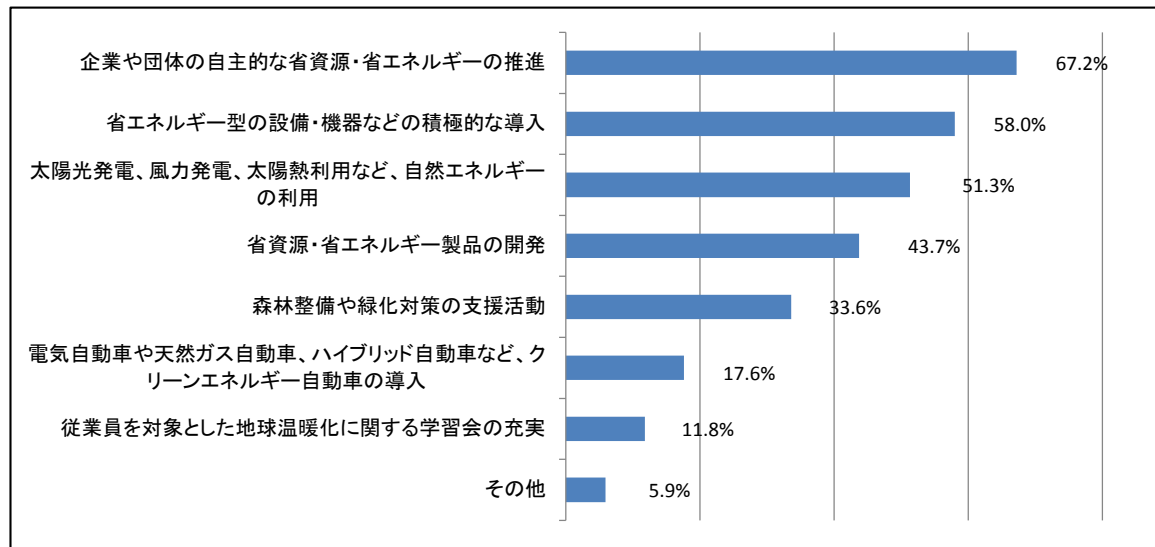
Q5 地球温暖化防止のため、県民が取り組むべきものは何だと思えますか。(3つまで)

| 選択肢 | 人数 | % |
|---|-----|-------|
| 電気の無駄づかいをやめたり、エコドライブに取り組むなど、家庭における省資源・省エネルギーの実施 | 100 | 84.0% |
| 太陽光電池、風力発電、太陽熱利用など、家庭での自然エネルギーの利用(システムの設置) | 61 | 51.3% |
| 森林整備や緑化推進活動への積極的な参加 | 50 | 42.0% |
| 省エネルギー型の家電製品の購入 | 40 | 33.6% |
| 行政や企業が実施する地球温暖化防止対策への協力 | 39 | 32.8% |
| 低燃費自動車やハイブリッド自動車などのクリーンエネルギー自動車の購入 | 34 | 28.6% |
| その他 | 8 | 6.7% |



Q6 地球温暖化防止のため、企業・団体が取り組むべきものは何だと思えますか。(3つまで)

| 選択肢 | 人数 | % |
|---|----|-------|
| 企業や団体の自主的な省資源・省エネルギーの推進 | 80 | 67.2% |
| 省エネルギー型の設備・機器などの積極的な購入 | 69 | 58.0% |
| 太陽光発電、風力発電、太陽熱利用など、自然エネルギーの利用 | 61 | 51.3% |
| 省資源・省エネルギー製品の開発 | 52 | 43.7% |
| 森林整備や緑化対策の支援活動 | 40 | 33.6% |
| 電気自動車や天然ガス自動車、ハイブリッド自動車など、クリーンエネルギー自動車の導入 | 21 | 17.6% |
| 従業員を対象とした地球温暖化に関する学習会の充実 | 14 | 11.8% |
| その他 | 7 | 5.9% |



Q7 地球温暖化防止のため、行政が取り組むべきものは何だと思えますか。(3つまで)

| 選択肢 | 人数 | % |
|---|----|-------|
| 太陽光発電、風力発電、太陽熱利用など、自然エネルギーの利用促進 | 85 | 71.4% |
| 率先した省資源・省エネルギーへの取組 | 83 | 69.7% |
| 市民、団体などによる地球温暖化防止活動への支援 | 40 | 33.6% |
| 学校や地域における環境教育の充実 | 35 | 29.4% |
| 電気自動車や天然ガス自動車、ハイブリッド自動車など、クリーンエネルギー自動車の普及促進 | 34 | 28.6% |
| 地球温暖化に関する情報提供や広報活動の推進 | 34 | 28.6% |
| 企業・事業所などへの規制や指導の強化 | 27 | 22.7% |
| その他 | 6 | 5.0% |

